令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況

8/20　06:00時点

- 発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
- 8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋IC からえびのIC）で 一般車両も通行可能
  （九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
- 8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能（南九州道によるアクセスルートが確保）
- 九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
  8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- 国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の舗装修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- 並行する県道338号の横江大橋については 17日に一般車両通行可
- 国道219号の新萩原橋については 8月下旬に通行可能となる予定

7/30
9:04～
一般車両
通行可

まつばせ
松橋IC

宇城市役所

うき ひかわ
宇城氷川SIC

氷川町役場

8/14　6:00～
一般車両通行可
（一部対面通行あり）

みやはら
宮原SA

八代市役所

やつしろ
八代IC

やつしろ
八代JCT

九州道　川田橋
下り線を活用した対面通行

＜応急復旧後＞

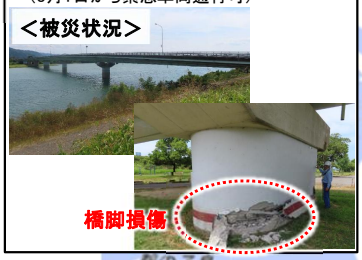
下り線）対面通行
上り線）復旧工事中

県道338号 横江大橋
・8月17日 一般車両通行可

＜応急復旧後＞

国道219号 新萩原橋
・8月下旬 一般車両通行可能
（8月1日から緊急車両通行可）

＜被災状況＞



8/1 15:00～
緊急車両
通行可

E3A南九州道

E3九州道

やつしろみなみ
八代南IC

さか もと
坂本PA

九州道　片野川橋㊤㊦
応急復旧済

7/30
15:00～
緊急車両
通行可

ひなぐ
日奈久IC

南九州道
妙見第一橋㊤㊦段差大

＜航空写真＞

8月18日 6:00～
一般車両通行可

南九州道（日奈久IC～田浦IC）
は国土交通省管理

＜被災状況＞

【凡例】
通行止め区間：
通行止め区間（緊急車両通行可）：
高速道路　通行可
　　完了：
国道3号、国道57号（直轄国道）：
迂回路：
迂回路設定予定：
主な被災箇所：

たのうら
田浦IC

至）えびのIC

至）えびのIC

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況（高速道路）　8/20　06:00時点

【道路復旧状況（高速道路）】
- 発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
- 8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で 一般車両も通行可
（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
- 8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
- 九州道と南九州道を連絡する八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
- お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から16日まで実施

〇南九州道　妙見第一橋㊤㊦　段差大

＜被災状況＞

＜航空写真＞

7/30　9:04～
一般車両通行可

7/31　18:50～
緊急車両通行可

8/14　6:00～
一般車両通行可
（一部対面通行あり）

＜一般車通行状況（宮原SA付近）＞

8/9　9:00～
緊急車両通行可
※一部対面通行あり

九州道　川田橋
下り線を活用した対面通行

＜応急復旧後＞

下り線）対面通行
上り線）復旧工事中

＜対面通行＞

8/11　9:00～
緊急車両通行可

8/1 15:00～
緊急車両
通行可

7/30
15:00～
緊急車両
通行可

8/18　6:00～
一般車両通行可

7/29
14:00～
緊急車両通行可

南九州道（日奈久IC～田浦IC）は国土交通省管理

至）えびのIC

至）えびのIC

令和８年熊本地震による被災状況（道路）

国土交通省
260820_0600時点

・道路の被害状況等（通行止め）

	7/28_21:00	7/30_05:00	8/18_06:00	8/19_06:00	8/20_06:00
高速道路	2路線7区間 ※点検中	3路線17区間 （約142km） ※うち8区間が緊急車両通行可（約73km）	1路線1区間 （約7km）	1路線1区間 （約7km）	1路線1区間 （約7km）
直轄国道	1路線1区間 ※点検中	全て解消	－	－	－
補助国道	1県1区間 ※点検中	1県2区間	1県1区間 ※緊急車両通行可	1県1区間 ※緊急車両通行可	1県1区間 ※緊急車両通行可
都道府県道等	3県9区間 ※点検中	3県17区間	2県3区間	2県3区間	2県3区間

【道路復旧状況】

○地震発生後、翌朝には被災地への主要アクセスとなる国道3号及び国道57号のアクセスを確保

○高速道路については、
- 発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
- 8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で 一般車両も通行可能（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
- 8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
- 九州道と南九州道を連絡する八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
- お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から16日まで実施

○7月29日から災害派遣従事車両を対象として高速無料措置を実施

○九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化

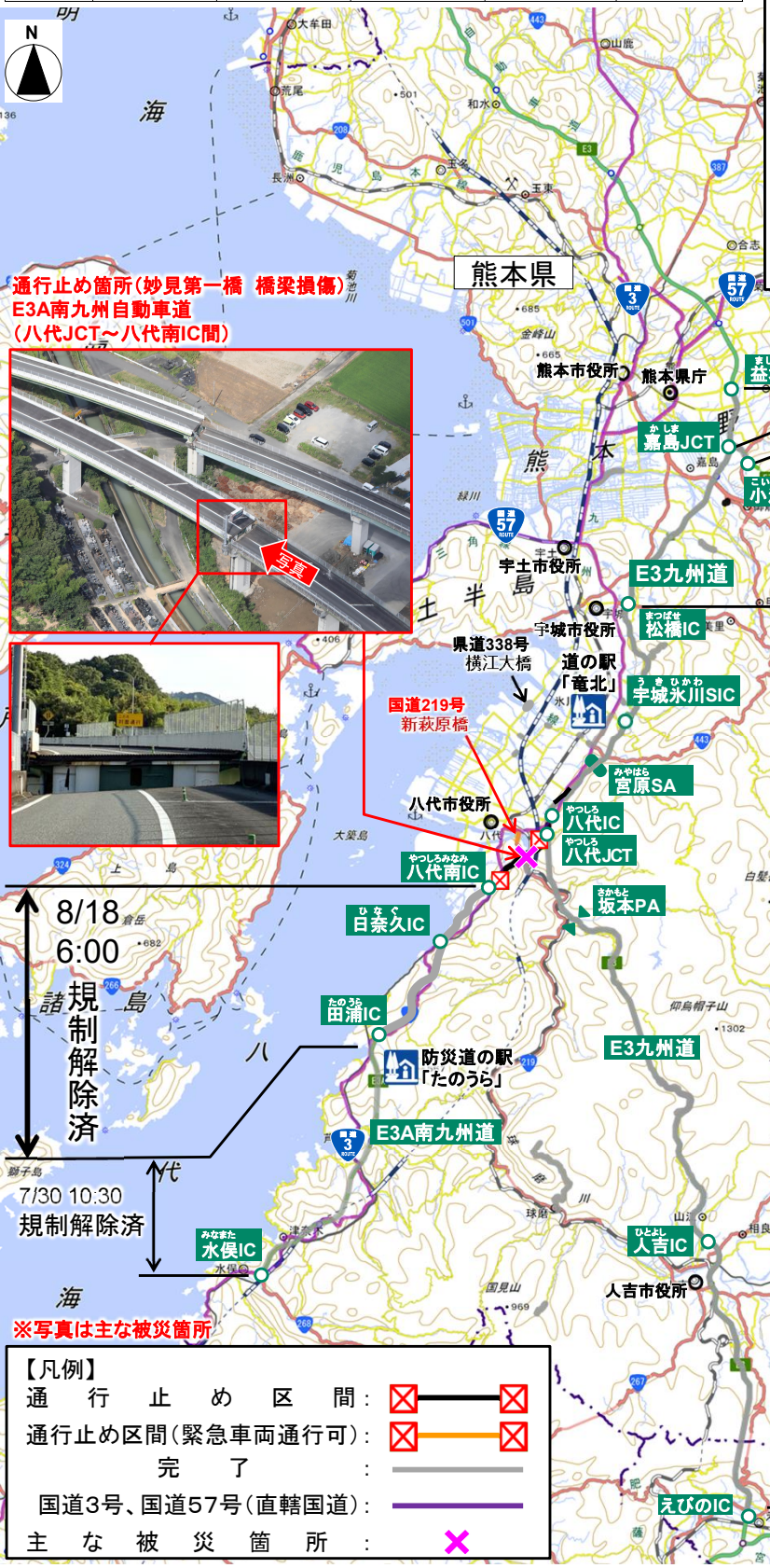
○国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の路面修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了

○並行する県道338号の横江大橋については 17日に一般車両通行可

○国道219号の新萩原橋については8月下旬に一般車両の通行可能となる予定

【自治体支援】

○トイレ環境確保のため道の駅の防災用コンテナ型トイレを被災地に8月6日までに15台派遣。さらに8台の派遣を準備



《防災用コンテナ型トイレの派遣》

氷川町（道の駅竜北）

【凡例】
- 通行止め区間：
- 通行止め区間（緊急車両通行可）：
- 完了：
- 国道3号、国道57号（直轄国道）：
- 主な被災箇所：×

○電力、通信、上下水道、鉄道について、連絡調整を行っており、現時点で、道路への要請なし（ホットライン構築済み、災害時の連携を確認済み）

○緊急車両とは、緊急自動車（赤色回転灯付の車両）又は災害派遣等従事車両証明書を持参した車両など（給水車両、タンクローリーについては災害派遣等従事車両証明書を持参していなくても通行可能）

令和８年熊本地震による鉄道の被害状況等について

国土交通省

令和8年8月20日08:30時点

■ :運休区間
✖ :写真の被害箇所

新幹線

熊本駅

日奈久断層帯

8月中の運転再開は困難な見込み
JR九州は、8月中に運転再開時期を示す意向

(参考) 九州自動車道
(八代JCT～人吉IC間)
片野川橋　橋梁損傷

(参考) 南九州自動車道
(八代JCT～八代南IC間)
妙見第一橋　橋梁損傷

新水俣駅

在来線

JR鹿児島線

宇土駅

小川駅

八代駅

8月中の運転再開は困難な見込み
JR九州は、8月中に運転再開時期を示す意向
※8月19日より、宇土～小川間において、バスによる代行輸送を実施
※8月26日からの宇土～八代間におけるバスによる代行輸送の実施に向け、関係機関と調整中

肥薩おれんじ鉄道線

水俣駅

詳細な被害状況を確認中
復旧見込み未定
※バスによる代行輸送を実施

①松橋～小川間　軌道変状

②小川～有佐間　電柱損傷

③肥後高田～日奈久温泉間　軌道変状

④上田浦駅　乗降場破損

※写真は事業者より提供

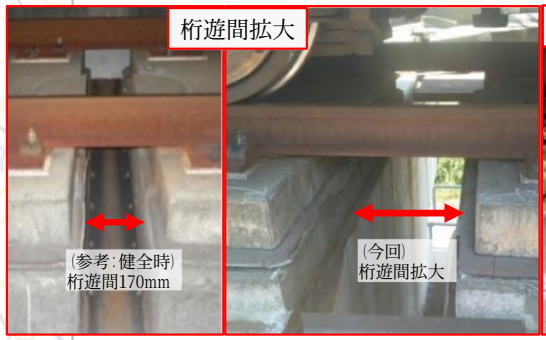
⑤熊本～新八代間　防音壁落下

⑥熊本～新八代間　高架橋損傷

⑦新八代駅　ホーム支柱損傷

⑧新八代～新水俣間　レール継目部開口等

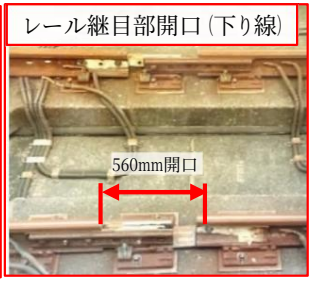
桁遊間拡大



桁支承部変形

レール継目部開口（上り線）

レール継目部開口（下り線）



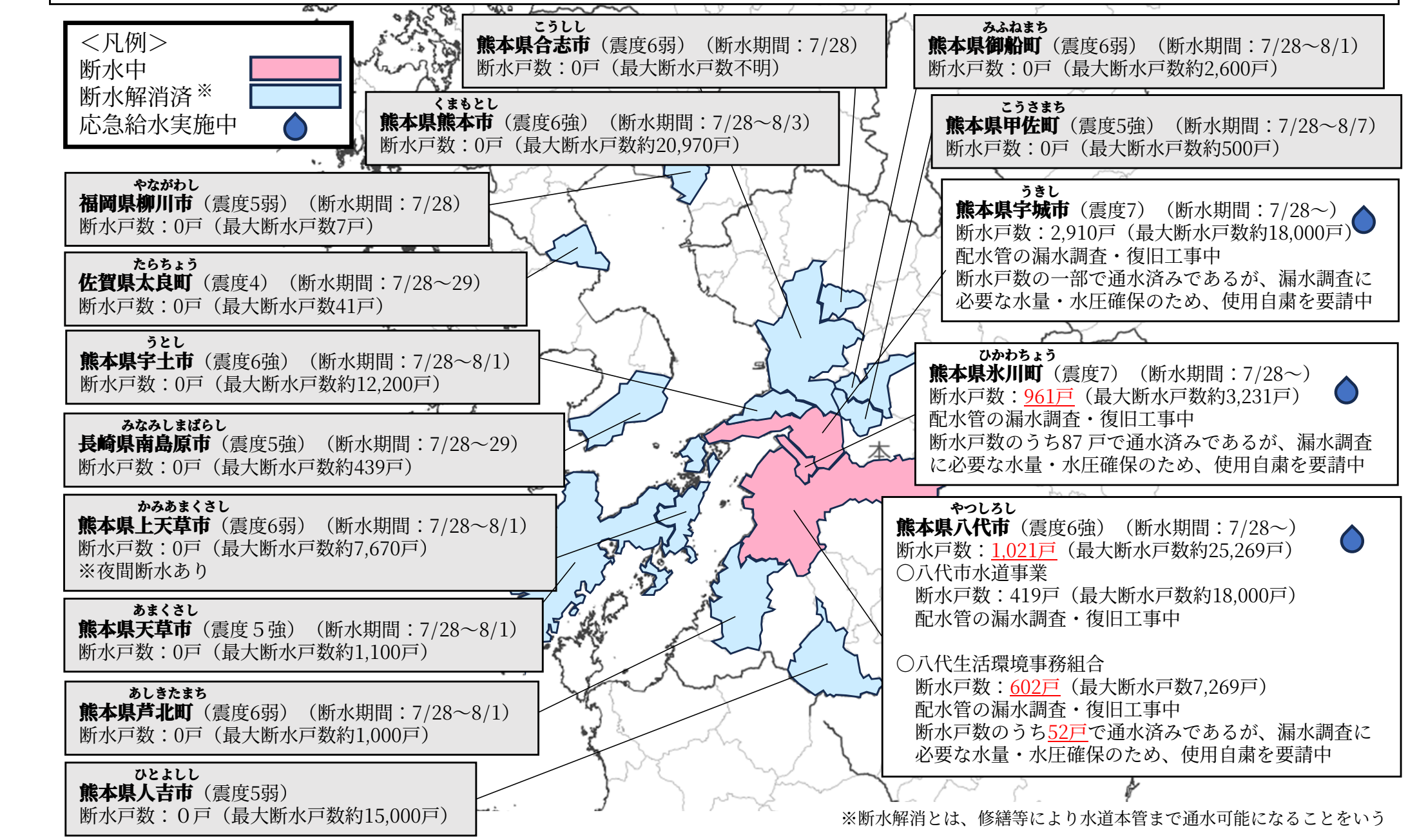
【令和８年熊本地震】水道施設の被害状況等について

国土交通省

令和8年8月20日
7:30時点

○ ４県（１５自治体）において断水が発生（最大断水戸数約108,100戸）
○ 熊本県の３自治体において約4,900戸が断水中、そのうち約100戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）
○ 全国の自治体及び工事業者により応急復旧を支援中（74班 、約260人※）　※現場状況により班人数が変動するため人数は概略値

＜凡例＞
断水中
断水解消済※
応急給水実施中



熊本県合志市（震度6弱）（断水期間：7/28）
断水戸数：0戸（最大断水戸数不明）

熊本県御船町（震度6弱）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約2,600戸）

熊本県熊本市（震度6強）（断水期間：7/28～8/3）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約20,970戸）

熊本県甲佐町（震度5強）（断水期間：7/28～8/7）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約500戸）

福岡県柳川市（震度5弱）（断水期間：7/28）
断水戸数：0戸（最大断水戸数7戸）

熊本県宇城市（震度7）（断水期間：7/28～）
断水戸数：2,910戸（最大断水戸数約18,000戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中
断水戸数の一部で通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

佐賀県太良町（震度4）（断水期間：7/28～29）
断水戸数：0戸（最大断水戸数41戸）

熊本県宇土市（震度6強）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約12,200戸）

熊本県氷川町（震度7）（断水期間：7/28～）
断水戸数：961戸（最大断水戸数約3,231戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中
断水戸数のうち87 戸で通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

長崎県南島原市（震度5強）（断水期間：7/28～29）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約439戸）

熊本県上天草市（震度6弱）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約7,670戸）
※夜間断水あり

熊本県八代市（震度6強）（断水期間：7/28～）
断水戸数：1,021戸（最大断水戸数約25,269戸）
○八代市水道事業
断水戸数：419戸（最大断水戸数約18,000戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中

○八代生活環境事務組合
断水戸数：602戸（最大断水戸数7,269戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中
断水戸数のうち52戸で通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

熊本県天草市（震度５強）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約1,100戸）

熊本県芦北町（震度6弱）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約1,000戸）

熊本県人吉市（震度5弱）
断水戸数：０戸（最大断水戸数約15,000戸）

※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう

【令和８年熊本地震】応急給水等の状況

国土交通省
令和8年8月20日
7:30時点

○ 熊本県内の3自治体において、現在約4,900戸が断水中（最大断水戸数は、4県（15自治体）において約108,100戸）。
○ 国土交通省、日本水道協会、自衛隊において、全国からプッシュ型で支援するよう、給水車を確保。現在、給水車129台で支援中。
○ 給水ニーズを踏まえた給水箇所の拡充、避難所・医療機関への優先の徹底などのため、関係機関と連携し、現地応急給水支援本部を設置。
○ 避難所・医療機関に加え、福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。
○ 引き続き、自衛隊の協力や、巡視船、水資源機構の可搬式浄水装置等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。
○ 今後も猛暑日が続く中、給水ニーズを的確に把握し、きめ細やかに応急給水を実施。

＜給水車の派遣状況＞

（単位：台）

被災水道事業者	計	国交省	日水協	自衛隊
八代生活環境事務組合（八代市と氷川町で構成される一部事務組合）	２３	3	２０	0
宇城市	２７	4	２１	2
八代市	６２	１１	４９	2
宇土市	4	0	2	2
熊本市	2	0	0	2
（派遣先調整中）	１１	0	１１	0
計	１２９	１８	１０３	8

※上記の給水車を活用し、給水所への応急給水に加え、避難所の生活用水（仮設トイレ、シャワー）、医療機関、福祉施設でのニーズに対応

＜応急給水の実施状況＞

可搬式浄水装置（水資源機構）
設置場所：氷川町竜翔センター
処理能力：50m³/日
8月4日より生活用水として給水開始
8月5日より飲料水としても給水開始
8月9日より入浴支援を行い、18日までに約 6,200名が利用

8月10日　トイレカーへの充水状況
（氷川町竜北東小学校）

令和8年熊本地震における水道の復旧見込みについて

国土交通省

令和8年8月20日
7:30時点

市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区（龍峯校区の一部、新港町1～4丁目除く）	解消
	旧八代市地区（龍峯校区の一部、新港町1～4丁目）	8月末
	日奈久地区	解消
	鏡町・千丁町	8月末
	東陽町	解消
	泉町	解消
宇城市	松橋地区	解消
	小川地区	8月末
	豊野地区	解消
	不知火地区の一部	解消

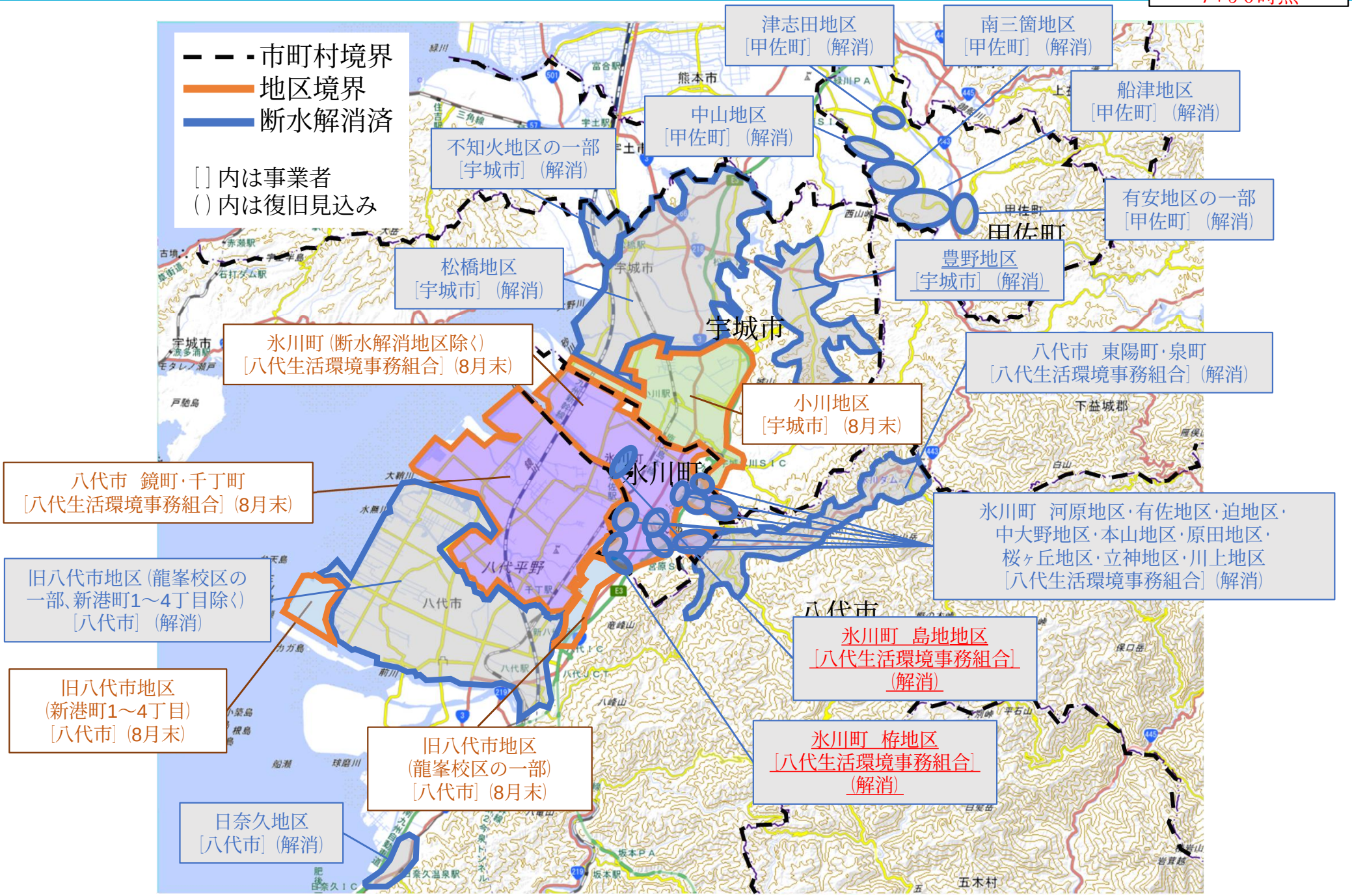
市町村	地区	断水解消見込み
甲佐町	船津地区	解消
	南三箇地区	解消
	中山地区	解消
	津志田地区	解消
	有安地区の一部	解消
氷川町	柊地区、島地地区 他9地区	解消
	その他の地区	8月末

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る。
※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう。

令和8年熊本地震における水道の復旧見込みについて

国土交通省

令和8年8月20日
7:30時点



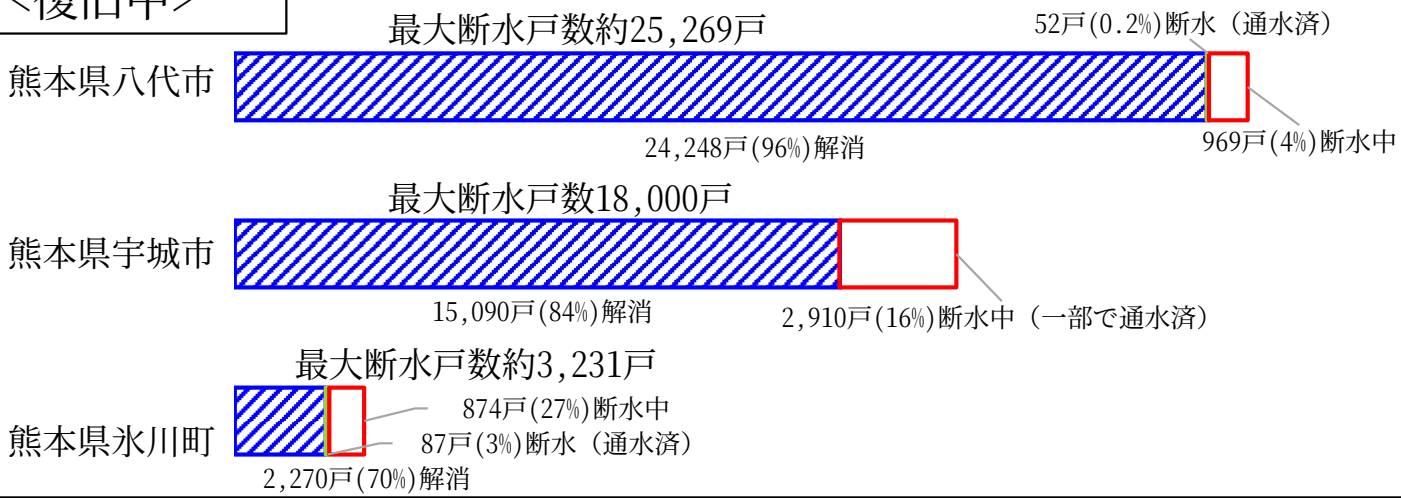
水道施設の復旧状況について

国土交通省

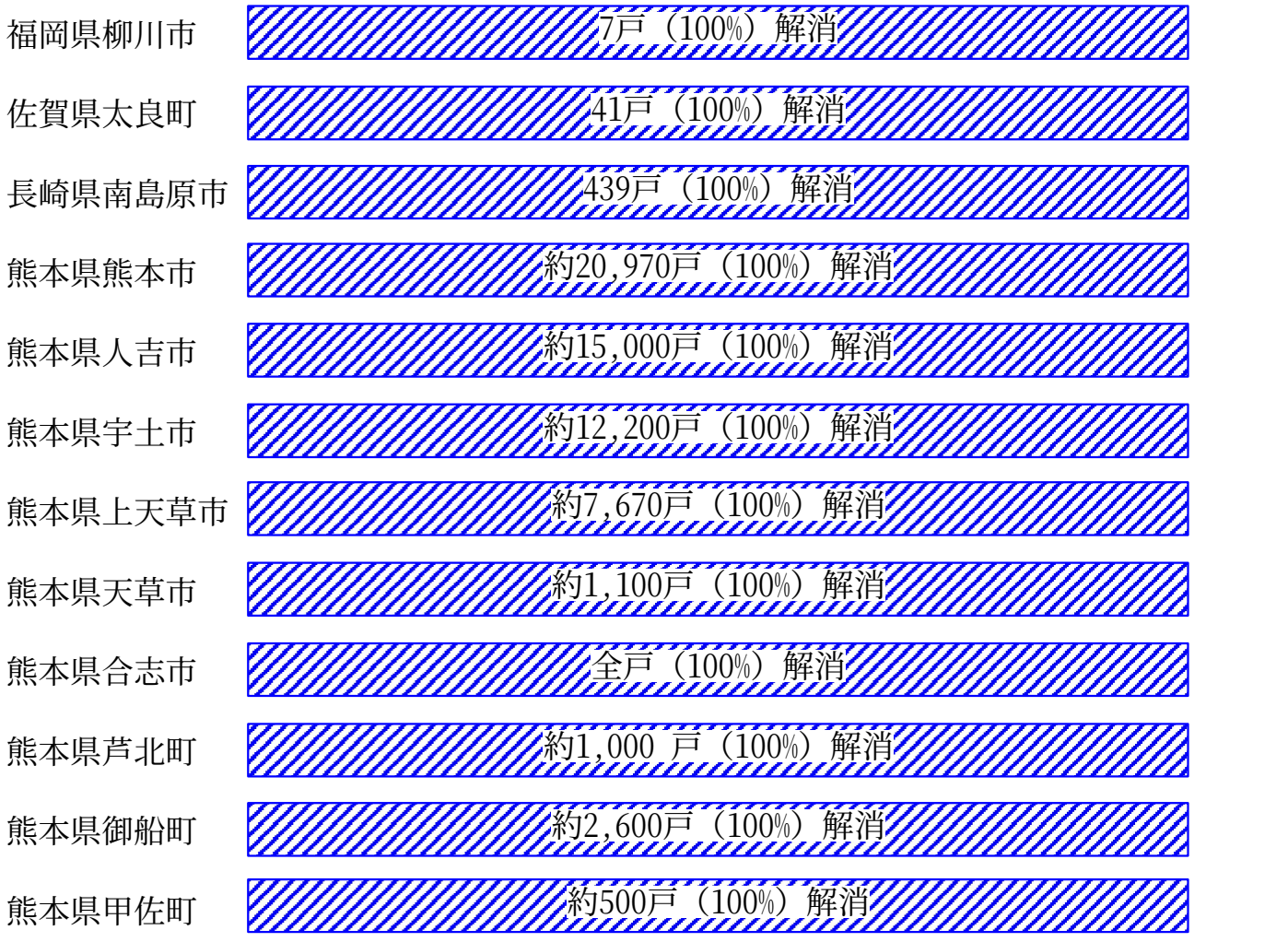
令和８年８月２０日
７：３０時点

熊本県の３自治体において約4,900戸が断水中、そのうち約100戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）

<復旧中>



<復旧済>※1



＜凡例＞断水解消※2　断水(通水済※3)　断水中

※１　復旧済の棒グラフは、最大断水戸数に対する割合を表示
※２　修繕等により水道本管まで通水可能になること
※３　通水済だが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中